

以下、本文-----

単施設研究用

【情報公開文書】

筋萎縮性側索硬化症の診断における weak shoulder sign、arm sparing sign の 実臨床での有用性に関する研究

1. 研究の対象

2014年1月～2023年12月に当院脳神経内科で筋萎縮性側索硬化症の診断のために入院された方

2. 研究目的・方法

筋萎縮性側索硬化症では、一部の筋に選択性の高い筋力低下を呈する傾向があり、診断に役立てられています。2022年に特徴的な筋力低下の分布を指す weak shoulder sign、arm sparing sign が感度や特異度の面で優れていることが報告されましたが、複数の一般神経内科医の評価において、同様の傾向がみられるかについては未だ検討されていません。

これまで当科では、複数の一般神経内科医による筋萎縮性側索硬化症患者さんの臨床評価を行ってきております。そこで今回、過去に当院脳神経内科に診断のために入院され、筋萎縮性側索硬化症の診断となった全患者さんの診療録から、後ろ向きに診療情報を収集、データを統計解析し、上記の診察所見の感度についての研究を行うこととしました。この研究は、筋萎縮性側索硬化症の診断に有用な臨床所見の価値を検討するものであり、皆様の今後の診療に役立っていくものと考えています。

研究実施期間：研究実施許可日～2025年12月31日

利用を開始する予定日：2024年1月30日から

3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用する診療情報は、年齢・性別・診断名・発症時期・入院日・重症度・合併症・既往歴・臨床症状・神経学的所見、針筋電図検査・神経伝導検査の結果、肺活量等です。試料は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：秋田大学大学院医学研究科消化器内科学・神経内科学講座 三瓶 結

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話番号：018-884-6104

-----以上